

製品名: SULT2B1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86124**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:8000
分子量	41.3kDa

抗原情報

遺伝子名	SULT2B1
別名	Sulfotransferase family cytosolic 2B member 1, ST2B1, Sulfotransferase 2B1, 2.8.2.2, Alcohol sulfotransferase, Hydroxysteroid sulfotransferase 2, SULT2B1, HSST2
遺伝子 ID	6820.0
SwissProt ID	O00204
免疫原	この抗体は、ヒト由来の組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

背景

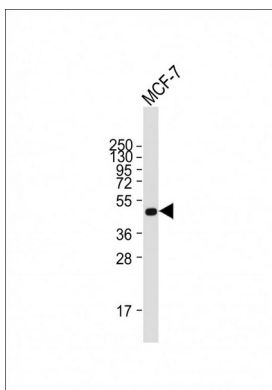
3'-ホスホ-5'-アデニリル硫酸 (PAPS) をスルホン酸供与体として利用し、多くのホルモン、神経伝達物質、薬物、および生体異物化

化合物の硫酸抱合を触媒するスルホトランスフェラーゼ。スルホン化は多くの化合物の水溶性を高め、腎排泄を促進するが、同時に生体活性化を引き起こし、活性代謝物を生成することもある。DHEA などのヒドロキシステロイドを硫酸化する。アイソフォーム 1 はコレステロールを優先的にスルホン化し、アイソフォーム 2 はプレゲネロンを積極的にスルホン化するが、コレステロールはスルホン化しない。表皮コレステロール代謝および表皮の増殖・分化の調節に関与する (PubMed:28575648)。

研究分野

-

画像データ



抗 SULT2B1 抗体 (1:8000 希釈) +MCF-7 全細胞ライセート